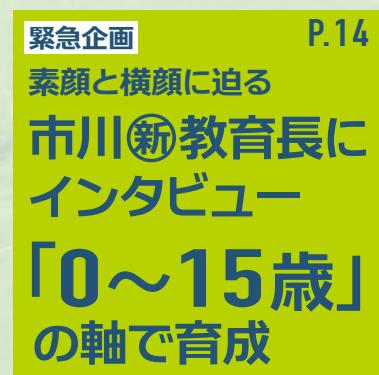


祝 入学おめでとう 「WE LOVE 小川中学校」



裏表紙に関連記事



表紙に使用している画像は、小川和紙の「雲龍紙」で、楮の長い繊維を混ぜて漉さぎあげます。和紙に合わせてあしらつた2色は「勿忘草色」と「若竹色」。勿忘草の花言葉は「私を忘れないで」。美しさと強さを秘めた凛とする青に、昨年度で歴史に幕を下ろした「西中」と「櫻台中」を重ねました。一方で、新たにスタートした「小川中学校」には、生命があふれる存在で勢いよく成長する「竹」をイメージしました。ニヤクニヤクと受け継がれるたくさんの想いを糧に、オガチュー生徒の皆さんの大活躍に期待します!

令和7年1月26日(日)

住民の声を広く聴くために プレ地区懇談会を実施

当議会、初となる広聴活動に取り組んだ。参加者の率直な声を聴くことができた。この声を生かすことができるように進めていきたい。

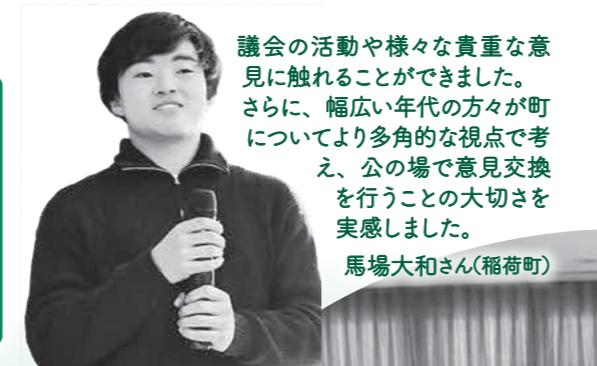


笠原英彦
議会運営委員長

大河公民館 女性講座グループ 主な意見

女性の視点と身近な問題

- 地域コミュニティの重要性
- 防災・防犯も大切
- デマンドタクシーの使い勝手 などなど



議会の活動や様々な貴重な意見に触れることができました。さらに、幅広い年代の方が町についてより多角的な視点で考え、公の場で意見交換を行うことの大切さを実感しました。

馬場大和さん(稻荷町)

若者グループ 主な意見

「夢を叶える」町への期待

- 年代を超えたイベントの開催
- 子育てしやすい町づくり
- 和紙の情報発信 などなど



議会の役割

好評

懇談前には「小川町議会」の説明動画を上映しました。住民の皆さんと議会の距離を縮めるツールとして今後ホームページにアップします。



柿間前公民館長
も参加

ワークショップ形式

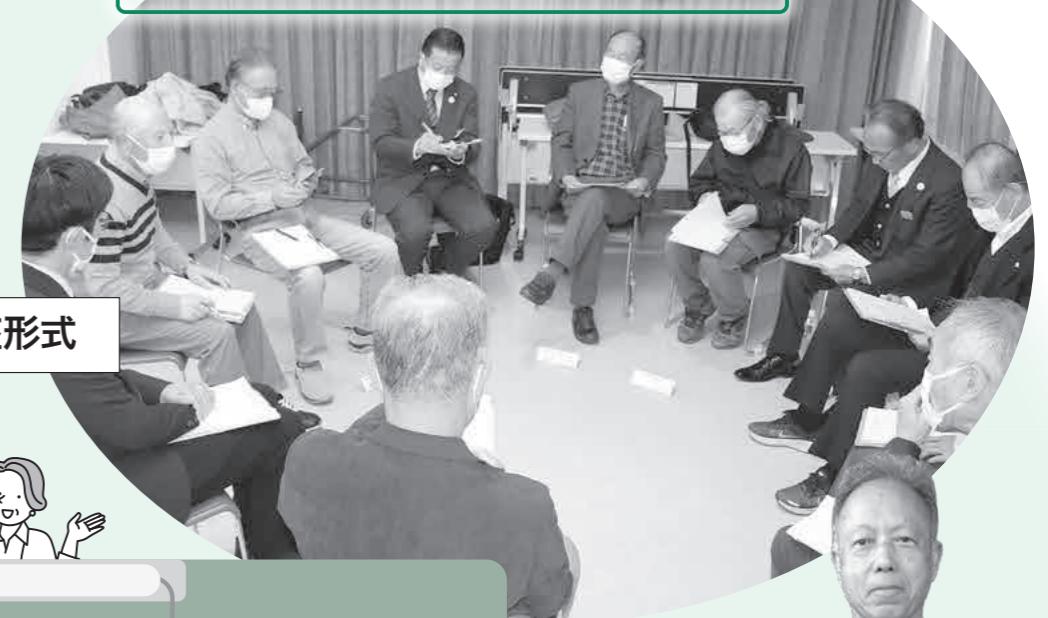


普段のちょっとした疑問や改善、要望、困りごと等を議員さんたちと会話ができてよかったです。ぜひ、町の活性化につなげてください。

菅沼好子さん(青下島)



車座形式



地域の課題を議会で
吸い上げてくれる、こ
の機会は貴重です。
議会が身近になりました。
大いに期待しています。

吉田晋さん(木呂子)



継続的な定期開催へ

今回のプレ地区懇談会は、想像以上の成果を得ることができた。本格実施に向け、全議員の意見を集約し「運営方法」等を見いだしていく。議長から受けた質問に対する6月議会で答申する。(議会運営委員会)

● 質問内容: ①地区懇談会の目的 ②実施計画
③住民への事前調査 ④会場・実施回数・規模
⑤運営方法 ⑥実施後の取組

議員アンケートより

- 聴くことに徹し、意見の引き出し方はよかったです。
- 定期開催を望む(年1~2回)。
- テーマを事前にお知らせし、議論を深めたい。
- 住民の意見を聞くだけにとどめない。(執行部への意見書・要望書の提出、一般質問での取り上げ等)

参加者アンケートより

- 参加してみて、満足できた。
- 進行は、わかりやすかった。
- 今後も参加したいかどうかは、半々。
- 議会説明動画での解説や議員と直接話せたのがよかったです。
- 次回に向けて論点を絞るとよい(テーマの事前通知)。時間をたっぷり、広い会場で。

今後取り上げてほしいテーマ

- 人口減少
- 町の観光
- 地域福祉の充実
- 空き家対策
- 地場産業の発展
- 子ども・子育て支援
- 学生の支援



3常任委員会が選ぶ 推し事業

令和
7年度

一般会計当初予算

111億6000万円
対前年度比 12.6%増

予算が増額になった主な要因

- 物価・人件費の高騰
エネルギーコスト上昇による物価高騰が全国的に自治体の予算を押し上げる
- リリックおがわ施設等改修事業費
リリックおがわホール棟の屋上に設置してある既存の高圧受変電設備の撤去工事
- 町村情報共同システム事業費
自治体情報システムの標準化に伴う経費
- 介護給付・訓練等給付費支給 **充実**
障害者自立支援において、生活介護、就労継続支援など障害福祉サービスの利用に係る負担金で、利用者の増加を見込む
- 児童手当支給事業 **充実**
制度改変により増額

物価高騰を背景に過去最大となつた当初予算。町民のニーズや将来のまちづくりにつながる各種取組が見えた。ここでは3常任委員会が期待する事業をピックアップ。「推しポイント」と併せて紹介します。

厚生文教常任委員会

小川中学校体育館に エアコン設置

夏場の体育授業や部活動の制限が緩和される。寒暑にかかわらず、体育館の利便性が高まる。LPガスバルクと非常用発電機も新設。※令和6年度補正予算の繰越事業。



推しポイント

- ①授業・部活動が充実する
- ②避難所の機能が強化される
- ③国からの補助金を獲得できた

これまで「暑さ」により体育の授業が制限され、予定していた内容を変更することもありました。設置される空調設備のおかげで、カリキュラム通りの授業展開が図れます。また、部活動の充実にも効果「大」です！
小川中学校 枝廣風太先生（体育）



エアコンの取付けを待つ「小川中学校体育館」



停電時、エアコンに使用するLPガスを備蓄するタンクなど。

次ページは予算質疑

総務常任委員会

パトリアおがわ 総合福祉センター 集約再整備 基本構想・基本計画の策定

公共施設等総合管理計画に基づき、利活用・管理・再編整備等を推進。令和7年度は「パトリアおがわ」に他の公共施設等の機能を集約することを検討し、基本構想・計画を策定する。



推しポイント

- ①町全体の公共施設等の維持管理や統廃合を適切に行える
- ②「パトリアおがわ」において、必要な設備改修を計画できる
- ③ホールの貸出、貸館業務の再開を計画できる



大河地区的拠点・複合化を待つ「パトリアおがわ」

活気のあるパトリアおがわに戻ってもらいたいです。

- ・キッチンカーやカフェなどの出店
- ・昔の朝市のイベント
- ・パトリアにもトレーニング施設を地域の子どもからお年寄りまでが楽しめるパトリアになってくれるといいなと思います。

金田由香さん（腰越二）

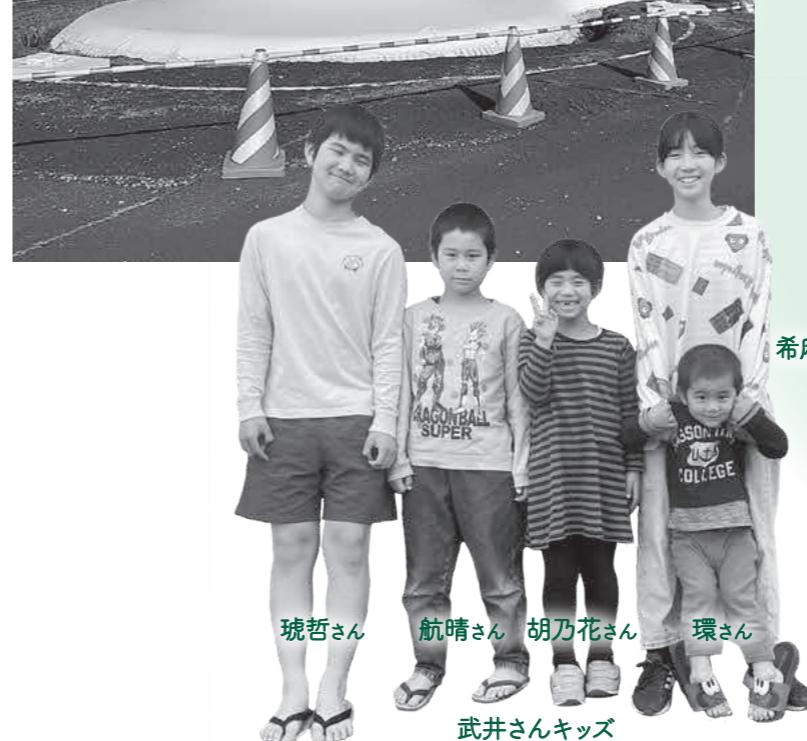
経済建設常任委員会

観光協会へ補助金を拡充

道の駅を核とする事業拡大（スタッフの充実・芝生広場や遊具の管理運営・電動自転車ほかの貸出し・デジタル会員証の運営等）に伴い補助金を増額。



たくさんの子どもたちの来場を待つ
芝生広場の「ふわふわドーム」



希麻さん

バーベキューをしたいです！
ふわふわドームが
無料なのがグッド！



推しポイント

- ①「道の駅」施設完成後の運営面で魅力あるイベントや企画が期待できる
- ②町で起業し「道の駅」に出店することで、集客力を見込んだ営業ができる
- ③観光協会の安定した運営が期待できる

ただ 議員が質した 188のこと

令和7年度
一般会計予算
を可決
111億
6000万円
(前年度比12.6%増)

今次定例会(2月28日~3月21日)では、令和7年度の各会計予算をはじめ、新教育長の任命に係る人事案件など全28議案を審議し、全て原案のとおり議決しました。ここからは、住民の皆さんに身近な「一般会計予算」の審議内容を中心に紹介します。



3月定例会の会議録は、6月上旬から見られます。

Pick up!

橋りょうの補修

3
橋

移住支援金

60~100
万円

知つておきたい! この数字

Q 基本構想や計画の策定に向けた取組は、
A 公共施設等総合管理計画に基づいて、現在の事務所や貸館など機能を維持するとともに、老朽化する他の町有施設を集約・複合化するため、必要な改修を行っていく予定です。建築設備(ハード)と機能集約(ソフト)の両方に知見を持つ事業者に委託する中で、複数の再整備案を比較検討し、基本構想・計画の策定を図っていきます。

Q 每年盛況の農業祭開催に係る補助金の増額に至った背景等は、
A 町内で生産された農産物の品評会や展示即売等を通じて、生産技術の向上と、農業に対する理解、関心を深めることから「地産地消の推進」を図っています。今後、リリックホール棟の解体工事の影響が予想される中、会場変更となつた際に生じる設備や案内表示などの変更、表彰や謝礼品の値上げ等にかかる費用を見込んでいます。

Q 地域強靭化計画の改定
A 主な改定点等は、同計画は、大規模自然災害等に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する取組を総合的かつ計画的に実施することで、強靭な国(地域)づくりの推進を目指しています。現計画の期間満了に伴い、国や県等における最新の動向を参考にする中で、当町の地域特性に見合った見直し・改定を図っています。

Q 公園・遊具の改修
A 新たな健康遊具等の設置は、既存のブランコやフエンスの改築、老朽化した複合遊具の撤去などを行っていきます。新たな遊具の設置は予定していませんが、



散歩の途中で、健康器具でぶらさがりをしたり、腰をひねったりすることです。筋力が保たれます。「貯筋」しています!
遠藤真知子さん
(東小川5丁目)

今後も公園を維持管理している地区・地域の皆さん 의견を反映する中で、少子高齢化や人口減少を総合的に判断し、整備していきます。



(仮称)西小学校の營繕

Q 西中学校を小学校として使用するためには、工事の内容等は、
A 教室の壁面に、体操着や給食着をかけるためのフックを取り付けます。また、現在は特別教室

棟までの渡り廊下が野ざらしになつていて、屋根の設置を予定しています。併せて、体育館にあるバスケットボールの「ゴール」の高さを小学校仕様に合わせて下げ作業等を見込んでいます。

Q 学習・研究活動に寄与
A 「文化財デジタルアーカイブ事業」の進捗と効果等は、これまでに「平松台遺跡」「六八幡古墳」「下里・青山山板碑製作遺跡(割谷)」に係る資料のデジタル化を図り、町ホームページに掲載しています。従前の紙媒体での資料取得と比べて、来庁等の負担が軽減されるとともに、デジタル化された写真等の資料は広範囲にアクセスが可能となり、様々な学習・研究活動に寄与するものと捉えています。

老朽化する庁舎の改修

Q 改修の詳細は、

A 庁舎地下にある電気室の「高圧受変電設備及び非常灯用蓄電池設備」を更新するものです。同設備は、既に耐用年数を大幅に超過し、老朽化による電気火災や近隣への波及事故、さらには行政機能の停止を引き起こすおそれがありましたので、対策を図ります。

移住支援の補助金を支給

Q 新たに創設された補助金制度

A が、支給要件等は、東京都23区内に在住在勤(移住前10年間で通算5年以上かつ直近1年以上)の方が地方へ移住し、「当町の中小企業・農林企業などに就業」等を行った場合に、補助する制度となっています。単身での移住は60万円で、世帯での移住は100万円を支給します。



小川町議会だよりは
町民登場!コタツル!

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます

(裏表紙も) 覧ください。

第33回小川和紙マラソン大会の充実！ランナー待望の「豚汁」提供を再開へ

AQ 補助金の大幅増が示されたが、増額は「新たなメイン会場の使用」と「事業規模の拡大」に起因するものです。リニューアル後の「道の駅」において、更衣室などの確保として、テント40張分の借上料を見込みました。また、ゲストランナーの招聘費や、駅と会場間を結ぶ送迎バスに係る費用を計上しています。参加者から希望の絶えなかつた「豚汁の提供」も再開する予定です。

Q 上位300人に地域通貨券

A 令和6年7月は、前年度の参加者で合計ポイント上位300人に限って、奨励品の地域通貨券（3000円）を郵送する費用を見込みました。新たに対象となる65歳の年齢到達者及び転入者には、介護保険証に同封し、案内をしています。なお、ポイント付与の対象に、町社会福祉協議会のボランティアセンターへ登録のある団体や個人の追加を進めています。

Q 令和6年7月からスタートした「いきいきシニアポイント事業」だが、取組の充実等は。

A 県内の自治体においても「自園処理」が進んでいる中で、保護者・職員双方の負担軽減につながると捉えています。また、私立保育園に対しても、処理に係る備品購入費の一部を助成し、取組を促します。

おむつの自園処理

Q 町立保育園で「おむつ処理」を始めるに至った背景等は。

A 県内の自治体においても「自園処理」が進んでいる中で、保護者・職員双方の負担軽減につながると捉えています。また、私立保育園に対しても、処理に係る備品購入費の一部を助成し、取組を促します。

人口減で被保険者数は減少も1人当たり医療費は増額傾向

特別会計予算

下水道事業会計

Q 一般会計からの補助金が減少しているが、要因等は。

A 経営戦略の改定や、全体計画の見直しに係る業務が完了したことで、委託料が減少しました。また、農業集落排水事業で進めてきた施設の統合工事が済み「奈良梨・上横田地区クリーン施設」での処理を終了し「新川地区水循環センター」に統合します。施設の管理に要する費用が減額となることに伴って、一般会計からの補填も減少を見込んでいます。

Q 昨今話題の「高額療養費」だが、前年度予算比で減額となつた。背景や見込みは。

A 人口減少・後期高齢者医療保険への移行等に伴う「被保険者数の減少」が減額の要因と捉えています。一方で、がん治療薬に係る処方等を背景に、1人当たりの医療費は増加傾向にあります。高額療養費の主な病状としては、血友病や大動脈解離・白血病などが挙げられます。

自分でつくる みんなで支える
健康づくりを合言葉に
健康に過ごしましょう！

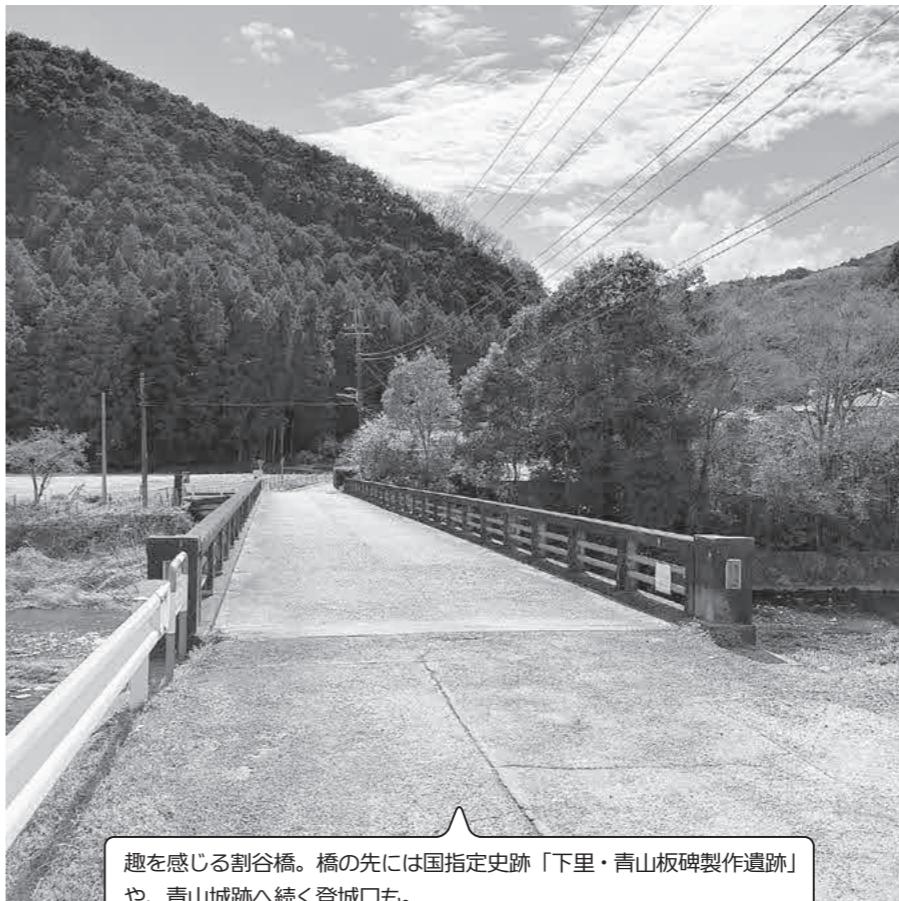


みんなで
支える

AQ 対象となる橋や工事内容等は、補修工事として、小川地内「大寺橋」・下里地内「割谷橋」・青山

橋りょうの補修と耐震補強

ントや防災訓練・防災講座などに参加を依頼し、長寿命化を図っていきます。また、耐震補強工事としては、下里地内「島根橋」を見込み、2つある橋脚の巻き立てと、変位制限装置の設置を予定しています。



趣を感じる割谷橋。橋の先には国指定史跡「下里・青山板碑製作遺跡」や、青山城跡へ続く登城口も。

令和6年度一般会計補正予算

祝！令和7年4月「小川中学校」開校 災害時も利用可能！体育館に工アコン設置へ

工アコン設置までのスケジュール等、取組の詳細は。

A 令和7年7月を目途に実施設計を進めています。また、8月には工事事業者の選定を行い、9月から工事に着手し年内の設置を予定しています。併せて、災害等の停電時においても利用ができるよう「LPGガスバルク」と「非常用発電機」の新設も行います。

Q 空調の利用に係る「ストはど」の程度見込んでいるか。また、使用に関したマニフェル等の作成は、当該空調の電気料として「年間約160万円」を見込んでいる

A ところですが、「空調設備整備臨時特例交付金」の活用で、光熱水費に対する交付税措置が受けられます。また、学校開放等で使用する場合の利用方法や使用料などについて、関係課と協議し調整したいと考えています。

Q 「下里地区」の児童に対しても、路線バスによる通学が試行されるようだが、背景等は。

A 令和7・8年度の2年間を試行期間とし、停留所「下里」「白根」「伝統工芸会館前」～「小学校前」「小学校東」の間における上下校を試行的に導入します。近隣でも小中学校の再編が進む中でスクールバスの需要が高まり、運転士や車両の不足、借上料の高騰が起っています。それら課題解決につながる1つの手段として取り組む方で、乗降客数が減少する路線バス活用の促進にも寄与するものと捉えています。



災害対応力

答弁 今次定例会の補正予算で計上しました

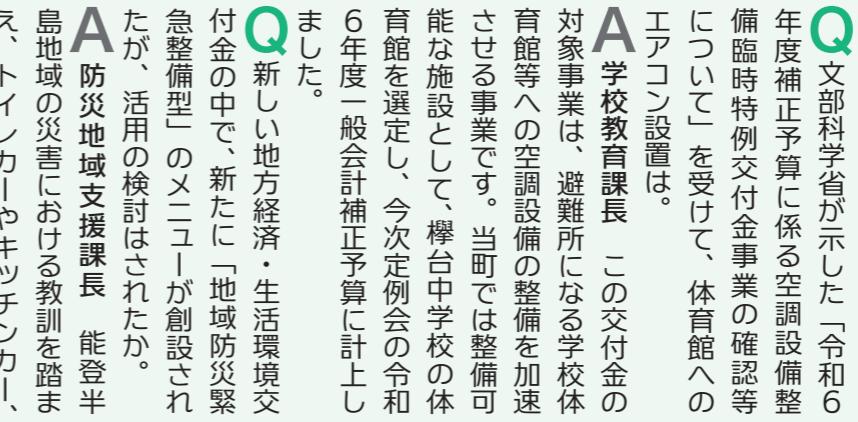
給食センター



炊飯施設の併設を

答弁 基本計画を策定する中で検討します

さんもオープンをと
みにしています。
60代)



簡易ベッドなどの資機材を整備し、防災体制の抜本的強化を図る目的で創設されました。しかしながら、当町ではそれらの導入は課題が多く、申請は見送りました。発災時のキッチンカーの活用は、今後、町内の保有状況や保有者の意向を把握し、迅速に提供する仕組みづくり等を考えていきます。

Q 新給食センターに炊飯施設を併設できないか。

A 学校教育課長 令和7年度予算案に「給食センター更新基本計画」の策定費を計上しています。炊飯施設や、災害時でも活用できる施設の整備も含め調査・検討を行い、方向性を示します。

Q 米や野菜の有機農産物の使用をより増やすために、農家と給食センターをつなぐ「一テイネーター」を配置できないか。

A 学校教育課長 現在行っている「給食センターと農協と生産者をつなぐ会議」を継続させて、安全でおいしい給食の提供に努めます。



コロナ後のイベント等の再開の難しさが顕在化している。区長等の集まりで、好事例の紹介などはできないか。

更新による効果
や期待は
伝えることです



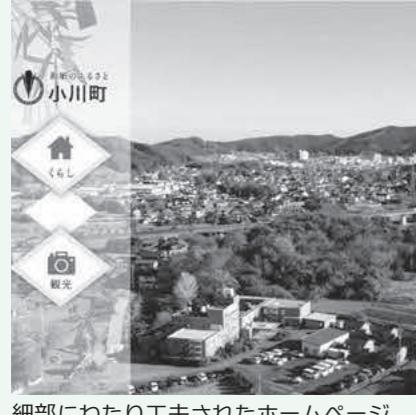
割引券や招待券の発行は
答弁 デジタル会員証の発行などを検討します

Q ホームページ更新による効果や期待することは。
A 総務課長 町内外の閲覧者に、より分かりやすく情報発信するために更新しました。トップページ動画から、町の魅力を感じ取れると捉えています。また、行政情報は、アクセスのしやすさ、見やすさを意識しました。

Q 庁舎入り口にある「町づくり提案箱あいちゃん」をホームページ上に作り、町民の声を聞くようにしては。

A 総務課長 現在の対応は、府内で確認後に文書での回答をして、今後の政策や事務の参考についています。ホームページ掲載については必要性を考えています。

Q 災害発生時や緊急情報の発信時の対応は。



細部に至り工夫された点が、云々

Q多くの町民に「道の駅」を利
用してもらうために「買い物割引
券」や「招待券」などの発行は。
Aにぎわい創出課長 「道の駅
デジタル会員証（紙漉き体験特典
付き）」の発行や「デジタルスタ
ンプラリー（達成者へは地場産品
提供等）」の開催を検討していま
す。「道の駅」利用促進に加え、
周辺の地域資源の活用や、町全体
の活性化が再整備の目標です。指
定管理者の事業計画にも、町内周
遊を推進するため、関係施設と
の連携や周遊割引券の発行などが
掲げられています。



「オープン近し」町全体の活性化実現へ

期待度
150%
お客様をたくさん呼んで、
小川町の特産品を日本中に広
めてください！(S・Yさん 60代)

期待度
100%
子どもたちと公園で遊んだり、
ピクニックしたり、一日楽しめる

道の駅周辺は日課の散歩道。オープン後は毎日寄ってしまふかも。(笑) (L・I・S・A・H・71歳)

私もお嫁さんもオープンをとても楽しみにしています。
(Y・Kさん 60代)

市川新教育長に突撃インタビュー!!

令和7年度から、新たな教育長として市川俊実氏を迎えて、始動した町教育委員会。町立学校の再編や学校給食センターの更新など、待ったなしの事業が控えている。新教育長の素顔はいかに…横顔にも迫ります。

小川町は教育者としての「ふるさと」です



小川町の多くの方々に支えられてきた私にとって、小川町は教育者としての「ふるさと」です。そのふるさとをより良くするための教育課題は山積ですが、学校再編や部活動の地域展開、不登校対策等の課題、さらにこれまで継続してきた「おがわ学」の進展等に改めて気を締め、情熱と使命感を胸に取り組んでまいります。

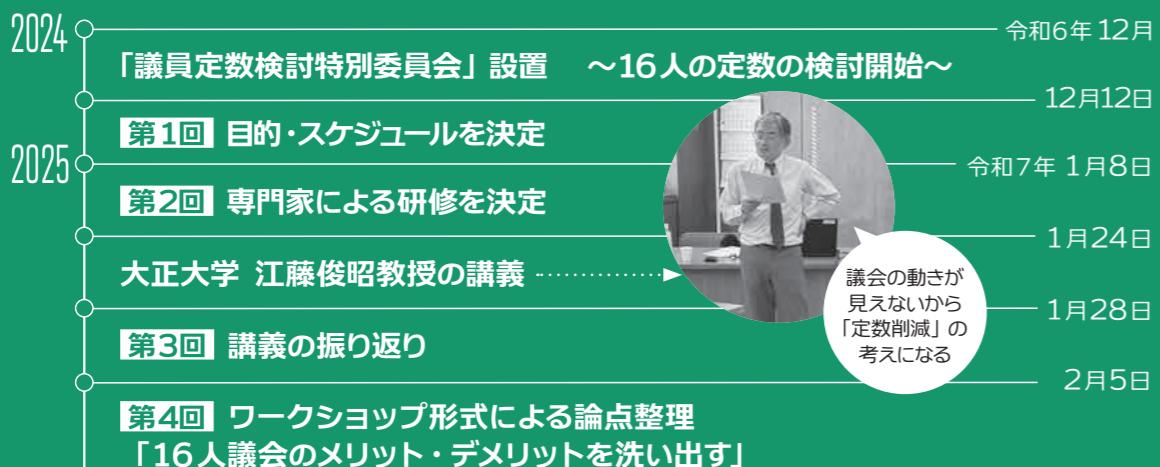
シリーズ

16人の一步!! 進み続ける議会

「議員定数検討特別委員会」からの報告 委員会報告から次回選挙に向けて

特別委員会の設置から半年。これまでに7回の委員会を開催し「定数」の在り方について議論を重ねてきた。大正大学の江藤俊昭教授(公共政策学科)から講義を受ける中で、議員力・議会力の不足を痛感する。ともに「議員定数」について考えてみませんか。

これまでの議論と歩み



定数16人

現状維持／

- 女性や若者候補が出やすい!
- 地域の声を届けられる!
- 少数意見も議会に届けられる!

見直し・削減／

- 議論がまとまりづらい!
- 人口減少の中、定数・議会費の削減も当然!
- 議員間での活発な議論こそ必要では?



議員・議会の現状を洗い出す厳しい議論

2月18日
第5回 ワークショップから見たテーマ①「住民の声を反映する議会に16人は必要か」を議論

3月17日
第6回 ワークショップから見たテーマ②「定数削減で議会の体制や運営状況はどうなるか」を議論

4月11日
第7回 「現状維持か削減か」各委員が意見表明 → 「削減」が多数

今後の予定
委員会報告を作成 → 6月定例会で報告

新型コロナウイルスの影響で「動けなかつた」議会が今までにないハイスピードで進み続けている。議会初となつた「ブレ地区懇談会(P2~3参照)」の開催・「議員定数を検討する特別委員会」の設置など、時代にマッチした「動く」議会にリニューアル中である。今任期も9ヶ月で折り返しを迎えるが、後半の2年間に突入!この歩みは止まらない!



「議会広報発行特別委員会」全員で全力取材!!
新教育長の活躍を期待しています。



『道の駅』

をつくったたぐみ 匠たち 編

歩道などを整備し、子どもたちも安心して来られます。私も孫と遊びに来たいです。

いよいよ5月30日(金)にリニューアルオープンを迎える「道の駅おがわまち」。

今回は、施設の新設・改修や、芝生広場・歩道の整備など周辺整備を担った事業者・職人の皆さんにインタビュー!「手漉き和紙と有機の里」をコンセプトに生まれ変わった“現場”から、リアルな声を届けます!!

新築棟は、柱のない大空間を作るのに苦労しました。広~く使ってほしいです。

地元の業者として関われて嬉しいです。これを機に、小川町が発展していくってほしいです。



限られた時間の中で、作り上げました。小川町に来てもらうきっかけになつてほしいです。

ふわふわドームは子どもたちに大人気。大いに楽しんでほしいです。

武蔵の小京都おがわの魅力と、和紙の伝統文化が続いていることを願っています。

次の定例会は

6月3日(火)~ 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは小川町ホームページへ



・今号の表紙・

待ち遠しい「校歌」の完成

撮影後、校歌の作曲を担う高橋浩美さんに遭遇。高橋さんは、かの有名な「旅立ちの日に」の作曲者。響く生徒の校歌斎唱…楽しめます。

編集後記

前職が教員だったので、いくつもの通信を作っていました。この経験を生かせば、議会報も大丈夫と思いきや「誤解を生まない正確さ」「難しいことを極力平易に」さらに「エンターテインメント性も加味する」という大変なものでした。しかし、これが面白い。自分も紙面も磨いていきたいと思います!(鈴木)

発行責任者: 小川町議会議長 高橋功人

編集: 議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています